



1 好きな飲み物は何ですか。

2以降、少しハードな話題が続きますから、1では楽しく、リラックスして話したいです。季節に合わせて「夏に飲みたい飲み物」「寒い朝に飲みたい飲み物」（飲み物に限定しなくてもいいです）など、テーマを変えても構いません。

2 買い物について

買い物をするときに、どんなことをチェックしているかを話し合います。児童労働が関係しているかをチェックする人はあまり多くはないのではないかと思います。①～⑤は例ですから、ほかのポイントについて話し合ってもいいです。消費期限や賞味期限については、それぞれが記載されたものを見せられるようにしておくといいでしょう。

3 読む前に知っておきましょう。

【読みましょう】の前に、ここで児童労働について正しい理解をしたいです。児童労働の定義に関する説明は、このユニットの最後 (p. 24) にある資料「児童労働とは」に載せています。資料は、語彙が少しむずかしいですが、児童労働のポイントを押さえることを大切に進めてください。大切なのは、家の手伝いやアルバイトとは違うということ、児童労働はその状況が問題であるというよくない意味で使われることばであることです。

全員で共通理解したうえで、①～③について考えましょう。①～③は小グループに分かれて考えてもいいです。

以下は、資料で参考にしたウェブサイトです。



NGO ACE「児童労働入門講座」（児童労働とは）

<https://acejapan.org/childlabour/entrance>



読みましょう

第2段落以降では、児童労働と貧困の問題について考えます。貧困の問題は日本にもありますが、日本では国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態を指す「相対的貧困」の家庭（子どもたち）が多いです。

第3段落では日本の相対的貧困について、例を用いて書いていますが、教室に合わせて「相対的貧困」「絶対的貧困」ということばを導入してもいいです。

また、【今日のことば】が少し多いですが、活動ですべての語彙を理解する必要はないと思います。どこまで理解するか（量や程度）は参加者に合わせて、サポートしてください。

考えましょう
話ししましょう

1 エマさんは、どうしてカカオ農園で働いていますか。

本文の1文目を参考に考えます。

2 学校へ行くことができないと、どのような問題が起こりますか。

3 あなたの国や地域には、エマさんのような子どもがいますか。

23は、絶対的な正解がある問いではありません。自分とは異なる意見が出て、しっかりと受け止め、聴き合う雰囲気をつくっていきましょう。

教室全体で考えてもいいですし、小グループに分かれて考えてもいいです。グループに分かれた場合、全体共有するかたちをとることをオススメします。全体共有の際の発表はだれがしてもいいです。

いっしょに /
学び合いましょう

1 見て、考えましょう。

映像や資料を見て、考える活動です。以下に資料の例を挙げましたので、参考にしてください。

ニュース映像等であれば、参加者の理解度を確認し、適宜止めながら視聴することをオススメしますが、この映像は視覚的にわかりやすく、映像の尺も長くないため、最後まで通して流してもいいと思います。映像資料等をみんなで見る際は、全員からしっかり見えているか、映像を流すパソコンの位置や画面の角度に気をつけましょう。

映像を見てから、どう感じたか考える際は、3人ぐらいのグループに分かれてもいいですし、全体で話してもいいです。グループで分かれる場合は、グループの話し合いのあと、グループでどのような話が出たか、全体で共有できるといいと思います。



株式会社グッドマンサービス『Cruel Recruitment / 残酷な求人』 End Child
Labour project ～児童労働撲滅へ～
<https://youtu.be/fkMH3Zgl4xc>



特定非営利活動法人 ACE「谷川俊太郎『そのこ』～児童労働のない未来へ～」
<https://youtu.be/2Iw-oAYD7T0>

※ YouTube で公開されている動画です。



谷川俊太郎（詩）・塚本やすし（絵）『そのこ』晶文社、2011.
<https://acejapan.org/childlabour/books/sonoko>



※『そのこ』の絵本もあります。



谷川俊太郎（詩）・塚本やすし（絵）・谷本美加（写真）『ふたりおなじ星のうえで』
東京書籍、2007.
<https://www.tokyo-shoseki.co.jp/books/80122/>

※絵本です。

2 読んで、考えましょう。

児童労働を少なくするための取り組みについて考えます。①で内容の理解をしたあと、②では自由に意見を共有します。②は、教室の参加人数に合わせて、3、4人グループに分かれてもいいと思います。A～Eの中から、やってみたいことを話してもいいです。以下は、児童労働を少なくするために活動している団体です。必要に応じて、紹介してください。フェアトレードマークについて紹介してもいいと思います。



NGO ACE「ACE（エース）とは」
<https://acejapan.org/about>





公益財団法人日本ユニセフ協会「子どもたちを過酷な労働から守るため～ユニセフの取り組み～」(児童労働>世界の子どもたち)

https://www.unicef.or.jp/special/childlabour/?utm_source=gooddo_mg_2021_child_labour&utm_medium=gooddo&utm_campaign=monthly&cd=pc308



FAIRTRADE JAPAN「認証ラベルについて」(フェアトレードとは)

https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/intl_license.php



※国際フェアトレード認証ラベル (The FAIRTRADE Marks) について書いてあります。



WORLD FAIR TRADE ORGANIZATION “Home of Fair Trade Enterprises LABEL AND MARK GUIDE for members Updated 02/ 2021”

https://wfto.com/sites/default/files/WFTO_Label%20and%20Mark_Member.pdf

※世界フェアトレード連盟 (WFTO) の認証ラベルについて、英語で書かれています。



People Tree「認証について」

<https://www.peopletree.co.jp/about/certify.html>



※ People Tree は、フェアトレードのファッション・雑貨などを扱うブランドです。このサイトでは、フェアトレードやエシカル製品に関わるさまざまな世界認証マークを見ることができます。



活動のふり返りは、大切です。感じたこと、考えたことを人に話すことで、自分自身、意識化できます。また、ほかの参加者のふり返りを聴くことも大切です。肯定的に関心をもって聴く雰囲気を大切にしましょう。

※ふり返りの進め方などは、ユニット1に「まつお一口メモ」があります。あわせてご覧ください。